

全酪連会報 7

2023 JUL No.694

酪農とのかけはし／
「個人ヘルパー」中野 昭彦さん、早川 真紀さん

日本酪農見て歩紀／有限会社牧成舎
(岐阜県飛騨市)

父の日に牛乳^{ちち}を贈ろう! 前編

第49回 らくのうこどもギャラリー 入賞作品紹介

酪政連活動報告

酪農トピックス／(株)ヤマラクフーズ直売所が堂々オープン! (仙台) ほか



LINE公式
アカウント
ができました!
登録をお願いします!



酪農青年女性会議

@642bpcwk



全国酪農業協同組合連合会

酪農との かけはし



第38回

「個人ヘルパー」

Supporting Clover

中野 昭彦 さん

ONEサポート

早川 真紀 さん

高い信頼と技術、
前向きな姿勢で
酪農家さんをサポート

網走市にある佐藤ファームでは、ご

夫婦と従業員(長女)1名のほかに、大空町、北見市、中標津町の個人ヘルパー6名と契約し、ローテーションで常時1名が作業に従事しています。それぞれのヘルパーの技術や資格に応じて牛舎仕事以外にも牧草運搬や電気関係、牛舎補修作業を依頼するなど、お互い無理なく気持ちよく、そしてお互いの利益になる関係を築いておられます。

今回は、佐藤ファームにヘルパーとして勤務されている2名をご紹介します。

● Supporting Clover

中野昭彦さん

組合ヘルパーを経て独立

20年ほど前に建設業界から転職



▲ 中野昭彦さん(右)・早川真紀さん(左)

し牧場従業員として働き始めた時に、初めて酪農ヘルパーという仕事

を知りました。従業員を経て網走のヘルパー組合に10年、北見のヘル

パー組合に3年半務めた後、独立しました。現在は北見・網走・訓子府において、定期5軒、単発を含めると8軒ほどの農家さんに利用いただいています。搾乳作業のほか、育成牛の移動なども行います。

佐藤ファームには組合ヘル

1対1の信頼を積み重ねて

パー時代から何度も利用いただきました。佐藤ファームでの仕事は勉強になります。作業自体は特別な内容ではないものの、牛の疾病に対する予防措置など牛を大切にされていますし、一つ一つの作業の意味を丁寧に教えてくれます。

個人ヘルパーは組合とは異なり、研修先がありません。従業員や組合ヘルパーなどで経験を積み、独立する方が多いです。私は組合ヘルパーを長く務めていたので、技術・知識は身についた形で、またその時のお客さんが継続利用してくださる形で独立することができました。酪農家さんと1対1で契約いただく個人へ



ルパーのほうが自分には合っていたと思います。その中で、酪農のやり方や人間性を尊敬できる農家さんを訪問しています。

コロナ禍でも安定してお仕事をいただき、今は新規依頼を受けることができない状況です。ありがたいのですが、頼まれた仕事をお断りするのは心苦しく、酪農ヘルパーの人材不足を感じます。

コロナ禍でも安定してお仕事をいただき、今は新規依頼を受けることができない状況です。ありがたいのですが、頼まれた仕事をお断りするのは心苦しく、酪農ヘルパーの人材不足を感じます。

知識を身に付け、意識を高める

酪農ヘルパーは、技術の仕事と思われがちですが、知識と意識が大切だと思います。酪農家さんごとに手

法や重視されている点が違います。それらを理解して、さらに一步先の氣配りができるように。酪農家さんから、仕事を任せられる〴〵思っていただけなければ仕事が続きます。ん。知識を身に着けて、意識を高める。どんな仕事にも共通することですが、私はこれを心掛けています。

牛を大事にする酪農家さんを
応援したい

数年前まで、担当地域でも規模拡大の傾向が続いていました。酪農業界としての勢いは嬉しく思いましたが、牧場によつては管理が追い付かず、牛に負担がかかっているように見えました。またそのような牧場では労働時間が長く従業員が続かないというような悪循環も生まれてしまい、ヘルパーにも負担が大きくなつてしまいます。適正な規模で、牛を大事にする酪農家さんを応援したいと思います。

●ONEサポート

早川真紀さん

酪農ヘルパーで独立する！

5年前まで介護士として働いていました。親戚が酪農家だったこと

もあり新規就農の希望はありましたが、事情により叶わなかったの
で、酪農ヘルパーを目
指すことにしました。

を開業していた義兄のもとで1年間一緒に働き、独立。現在4年ほど経ちます。従業員1名とともに東藻琴・網走・美幌・小清水・標茶で6軒ほどから定期利用いただいています。収穫時期のロール運びや、角焼き、哺乳ロボットの清掃など個々の農家さんの要望に合わせて担当しています。

当時ヘルパーとしての経験は浅かったのですが、自分でやってみたという気持ちが大きく組合等には属さずに個人ヘルパーを選択しました。やってやろう！と道場破りのような気持ちですね（笑）でも地元の酪農家さんに知り合いも少なかったので、最初はひたすら名刺を配り営業しました。仕事があるのか、どん



な仕事が待っているのか、毎日胃が痛かったですが、幸い徐々にお客さんが増えて忙しく過ごせるようになりました。

佐藤ファームには、開業時の営業の際に縁あって利用いただきました。佐藤さんご夫妻は酪農家としてご自身も努力・苦勞されてきたからこそ、周りの関係者にも配慮した対応をしてくださいます。牛に

対してはもちろん素晴らしいですが、人間性に惹かれているところが大きいです。

やる気と前向きな姿勢を持って

個人ヘルパーは農家とヘルパーの個人契約になりますので、仕事の質を農家の方に信頼いただかなければ続きません。ですので、定期契約をいただけることは嬉しいことです。特に家族経営の農家さんには従業員のように信頼して利用していただいでいて、ヘルパーとしてのやりがいを感じます。人と人との付き合いが

ので、長くお付き合いできない農家さんもありますが、良くしていただける農家さんのために働きたいと思っています。

どの職業にもいえますが、技術は自分で習得しようと思わなければ身に付きません。私は個人ヘルパーとなり自分で考え知識・技術を見て覚えるようになりました。それでも失敗や苦労はありましたが、やる気と前向きな気持ちを持っていたのでここまで続けてこれたと自負しています。

余談ですが、独立した当初冬は趣

味のスノーモービルを楽しもうと思っていたのですが、忙しくて出来なくなってしまう。さらに今年から新事業（キッチンカー）を始めたので、今は休みがありません。でも、新しいことを始めてワクワクしていますし、自分に返ってくると思って今は頑張ります（笑）休もうと思えば休めますし、スケジュールを自分で決められるのは個人ヘルパーのメリットだと思います。

人との関わり方が大切になる

これから先は働き手が少なくなる

ことも予想されるので、人との関わり方が大切になります。お互いに思いやりを持ち気持ちのいい関係の中で、酪農ヘルパーとして、これからも酪農家さんとながっていききたいと思っています。規模拡大をされるのは経営判断で応援したいと思いますが、一方で佐藤ファームのように規模拡大を選ばず、無理をしない経営と言うものももっと尊重されていくと良いと思います。

お二人とも各地域の酪農家さんから頼りにされており、「現在は新規依頼をお受けできないのが苦しい」とのこと。また、地域にもよりますが個人ヘルパーの数はまだまだ少数で、酪農家さんが利用したいときに探すすべがないそうです。

絶大な信頼関係のもと、1軒1軒の農家とまるで従業員のように深くお付き合いをする個人ヘルパー。組合ヘルパーと同様に、酪農とのかけはしとして酪農家をサポートするこの職業が、今後より普及していくよう、微力ながら本誌にて紹介させていただきます。



有限会社牧成舎
岐阜県飛騨市消費者と酪農家の
架け橋を目指して

地域の紹介

岐阜県の最北部に位置する飛騨市は、飛騨山脈などの美しい山々に囲まれ澄んだ川々が流れている自然豊かな地域です。これらの山河が織りなす風景からは清涼な大自然の美しさを感じることができます。

市の中心地である古川地区には古い街並みが残されており、のんびり歩くだけで歴史と伝統を感じることができます。近年は大ヒットした長編アニメ「君の名は。」の舞台のモデルとなったことでも有名です。作中のシーンと同じ構図が眺められる場所や、登場人物が立ち寄った場所が点在しており、聖地巡りが人気となっている地域でもあります。

飛騨市古川町には数々の人気スポットがありますが、その中でも屈指の歴史を誇るのが明治30年創業の牛乳屋「牧成舎」です。牧成舎は飛



▲ 鮎の瀬牧場 外観

騨の生乳を使ったこだわりの乳製品を製造するほか、平成18年には牧成舎の牧場として「鮎の瀬牧場」を立ち上げました。今回はそんな有限会社牧成舎取材させて頂きました。

牧成舎の概況

有限会社牧成舎は牛乳やヨーグルト、チーズ、アイスクリームの

おいしいことを、
まじめに、ていねい

明治30年から続く飛騨古川の牛乳屋「牧成舎」
牛乳を愛し、手間暇を惜しまず毎日手作りし



牧成舎 “BOKUSEISYA”

“Tasty, Earnestly, Lovingly”

We love milk.

▲ 有限会社牧成舎 牧田社長





▲ 牧成舎で販売している牛乳

製造及び販売を行う乳業会社です。また同社の牧場として「鮎の瀬牧場」を運営しており、現在はフリーバーン牛舎にてジャージー牛14頭を飼養しています。生乳生産量は年間で65t程度となっており、生産された生乳は飛騨の契約酪農家の生乳も合わせて様々な乳製品に加工されております。

牧成舎ではこだわりの製品を多数販売しており、テレビ番組で取り上げられた冷凍ピザ、飛騨市のふるさと納税の返礼品として人気の乳製品セット、その他多数の魅力的な製品開発を行っています。

牧成舎の基になる牧場は現在の社長の曾祖父である初代牧田源兵衛氏が明治30年に京都の本願寺へ参詣の折りに乳牛の子牛雌2頭、雄1頭を購入して帰宅、牛乳販売を開業した時から始まりました。

それから順次増頭していき高山市に販路を開拓、日量1合ビン(180cc)100本程度販売を開始しました。当時、牛乳を飲む人は裕福か病人、母乳の足りない乳幼児が居る家庭でした。乳幼児の母乳不足は米の粉、おも湯又はもらい

牧場の歴史



▲ 牧成舎のチーズをふんだんに使ったピザも販売しています



▲ 搾乳の様子

乳で育児するのが普通であり、幼児の死亡率が高いのは、母乳不足に加えて、当時牛乳は高級品で購入出来なかった為と言われていました。高価であったため販路開拓に努力しても生産量が販売よりも多くなり、余乳対策として、コンデンスミルクを製造、遠く長野県へ販売したこともありました。

製法は原始的で大きな鍋で牛乳を煮詰め、アメを加え、アルプスアメリクのブランドで販売しましたが、生産費が高く採算がとれなかったため、2～3年で中止となりました。

昭和10年に2代目牧田真作氏により新基準に対応した牛乳工場の新設が行われ、昭和30年にはさらにパス殺菌機、冷却プレート、ビン詰め機を設備した牛乳工場を新築。その後、ビン詰めヨーグルトの製造、学校給食牛乳の開始など時を経るごとに様々な製品を増やしてきました。昭和47年古川酪農農業協同組合が設立され、牧成舎はその組合の乳業工場として専業することとなりました。

大正10年、現在の飛騨市古川町に牛舎を移転。当時の製法はビンに生乳を詰め、ビンのままセイロで蒸し殺菌をし、熱いものを朝早く配達したそうです。



▲ もなかアイスはそのままでも軽く焼いても美味しいです



現在の牧田礼子社長が入社、昭和63年にはアイスクリームの製造を開始。長年余乳対策で練乳製造をしていたので、その製法を活用し生乳を濃縮し美味しさはもちろん栄養価の高い、病人や子供たちにも向くアイスクリームを作りました。このかわりのアイスクリームは東京の百貨店で高い評価を受け、発売以来30数年ギフト採用頂いており、現在もこだわりのオリジナル商品を開発し続けています。

平成18年には廃業した牧場跡地に「鮎の瀬牧場」を新設し北海道よりホルスタインを5頭導入し、その後徐々にジャージー牛へ移行してきました。

酪農教育ファーム

鮎の瀬牧場では酪農教育ファームに力を入れています。毎年地域の児童が、牛への餌やり、アイスクリーム作りなど実際に牛に触れ合う体験を通して、給食で提供されている牛乳ができるまでの過程を学びます。

酪農教育ファームをするきっかけは平成14



▲ 地元小学生が餌やりを体験

年に牧田社長が酪農教育ファーム認証牧場の組織・地域交流牧場全国連絡会主催の「フランスのグリーンツーリズムと教育ファーム」の研修視察旅行に参加したことにあるそうです。

フランスの代表的教育ファームネットワーク「サアヴォワール・ヴェール」の視察や元会長の熱心な説明を受けたこと、ノルマンディー地方の美しい風景、カマンベールチーズ工場やシードル農家見学、映画の様な豊かで美しいフランスに行ったにもかかわらず一番心に強く響いたのは日本から一緒に出発した酪農家のお嬢さん達が口にした「酪農をやっているうちのお父さんってカッコイイ！」という言葉。当時の牧田さんには酪農家がかっこイイとは衝撃的な言葉だったそうです。日

本に帰ってからその交流牧場の方々を知る機会があり、何かに属することで安定を求めるのではなく、独自の道を切り開こうとする「開拓魂」の話を聞き、その姿勢に感銘を受けました。そこには農家のアイデンティティーがありこれが改めて乳牛を飼い酪農教育ファームを始めるきっかけになったそうです。

これからのこと

酪農を営むにあたっては牧場内の管理はもちろんのことですが、周辺地域の理解が欠かせません。これまで様々な問題を抱えた牧場を見てきたことから、地域と歩み寄り、協力体制が築ける開かれた酪農をしたい、との思いがあります。これから酪農教育ファームを行い、依頼があればなるべく受け入れていきたいとのこと。

そのような姿勢もあつて飛騨市の産業として行政より様々なサポートが行われており、牧成舎の製品は飛騨市の特産品として認知されています。

酪農と消費者の間に立てる、架け橋になる会社を目指してこれからも努力していきたいとのこと。

あとがき

この度は快く取材を受けて頂き、深く御礼申し上げます。取材を通して地域とのつながりを大切にする姿勢、製品開発、教育ファームなど様々な面で新しいことを始める開拓精神を知ることができました。

取材の際にはジャージーソフトクリームや魅力的な商品を頂きありがとうございました。大変美味しく頂きました。今後とも誠心誠意サポートさせていただきます。



▲ 地元農家のアスパラガスは牛達の大好物です

おいしいをお届けする
牧成舎



北海道

●北海道酪農青年女性会議

北海道酪農青年女性会議では例年道内の幼稚園を訪問し、委員による酪農のお話やクイズ、牛の着ぐるみのはなこちゃんとの触れ合いを実施してきました。新型コロナウイルスにより過去3年間は自粛してしまし

たが、今年度はついに再開！江別市と千歳市の幼稚園・こども園2園を訪問しました。

子どもたちにとってもイベントの機会は久しぶりということで、牛の着ぐるみのはなこちゃんが登場すると大きな歓声があがりました。クイズでは、「牛さんは何を食べる？」「牛さんはどうしてミルクを出すのかな？」といった問題を出し、イラストや



父の日に

牛乳

今年も全国各地で
キャンペーンを実施！

を贈ろう！前編

全国酪農青年女性会議による「父の日に牛乳を贈ろう！キャンペーン」が、今年も全国各地で開催されました。今年も5月末～父の日である6月18日(日)を中心に、各地域において特色のある活動を全国で展開しました。2カ月で渡って、各地で実施されたキャンペーンの一部をご紹介します。

実際のミルカーを見せながら、牛が草を食べて牛乳を出してくれる動物であることや、牛乳は子牛のためのミルクを人間がもらっているというお話も行いました。子どもたちはお話をよく聞いて、元気に手を挙げて、正解すると大きな声で喜んでくれました。短い時間ではありましたが、このような訪問活動の大切さをあらためて感じました。



●福島県酪農青年研究連盟

訪問日：令和5年6月1日(木)

訪問場所：福島県庁

6月1日の世界牛乳の日に合わせて、福島県庁を訪問しました。農林水産部長と牛乳で乾杯した後、牛乳・乳製品を贈呈し、牛乳消費拡大のPRを行いました。



福島県

●東北酪農青年女性会議

開催日：令和5年6月17日(土)

場所：せんだい農業園芸センター
みどりの杜（宮城県仙台市）

「父の日に牛乳を贈ろう！」活動として、ツール約700セット（ミルマーク、チラシ）を配布しました。来場者の方々から「これからも頑張ってください」と温かいお声をいただきました。



宮城県

●中部酪農青年女性会議

中部酪農青年女性会議（西尾直樹委員長）は、6月14日(水)に東海農政局を訪れ、小林勝利東海農政局長に牛乳を贈呈し、牛乳の消費拡大のPRを行いました。

情報交換の場では、ここ数年の東海地域における生産現場もコロナ禍の影響が続いていること、飼料高騰など酪農情勢が逼迫していることを報告しました。

あわせて本年度の当会議の活動計画、酪友フォーラム2023の開催など多岐にわたり情報交換を行いました。

東海農政局には、県民が自由に入出入り出来る「消費者の部屋」があり、そこには毎年この時期、牛乳乳製品のアピールするために、展示を行っていただいています。

中部酪農青年女性会議は安全面に配慮しながら今後とも積極的に酪農家のために啓蒙活動を推し進め、また良質で安全な牛乳の安定供給と牛乳の消費拡大に努めて参ります。



▲牛乳で乾杯



「消費者の部屋」の展示 ▶



▲牛乳贈呈式(右から西尾委員長・北谷副委員長・小林農政局長・渡邊代表監事・高橋副委員長)

●愛知県酪農農業協同組合青年女性部

愛知県酪農農業協同組合青年女性部（北谷記啓部長）は、毎年『お世話になっている方へのメッセージコンテスト』を開催しています。例年は優秀作品に選ばれた御家族へ青年女性部部員が直接ご家庭に訪問し乳製品の贈呈式を開催していますが、今年もコロナ禍が治まったばかりという状況であるため、選考会のみを行う形で6月2日(金)に開催いたしました。

今年も119通もの応募があり、どの作品もお子さんからお父さんをはじめとしたお世話になっている方へのまっすぐなメッセージが書かれていました。審査を行った審査員の皆さんはお子さんのメッセージを見て、ご家庭の様子を想像し、温かい気持ちになりなが

ら優秀作品を選考しました。

来年は是非とも優秀作品に選ばれた御家族へ青年女性部部員が直接ご家庭に訪問し乳製品の贈呈式を開催できることを心から願っています。



◀ 愛のこもったメッセージ

選考風景 ▲▶

●三重県酪農青年女性会議

毎年の恒例行事として三重県酪農青年女性会議（高橋明美委員長）は、『三重県知事への牛乳贈呈式』を行っていましたが、コロナ禍により中止しております。今回開催するかどうか鑑みた結果、今年も『三重県知事へ牛乳贈呈式』は中止することとしました。

そこで代替行事として高橋委員長と中部酪青女渡邊代表監事（三重県酪農協）が代表として県内の保育園、小学校への啓蒙活動を行いました。

安全面に配慮して5月31日(水)に勢和保育園、6月5日(月)に庄内青い鳥保育園と椿小学校の3ヶ所を訪問しました。

【ミルメーク】以外にも消費拡大グッズや似顔絵用紙も合わせて配布しました。

来年は三重県の酪友と共に三重県庁に訪問し国産乳製品の啓蒙活動そして贈呈式を開催できることを心から望んでいます。



▲ 勢和保育園(多気郡)



▲ 椿小学校(鈴鹿市)



▲ 庄内青い鳥保育園(鈴鹿市)

●愛媛県酪農経営者協議会

6月13日(火)、関係者4名が愛媛県庁を訪問し、県知事へ県産牛乳・乳製品を贈呈するとともに、理解醸成活動報告を行いました。また贈呈式後、

四国乳業(株)による牛乳・乳製品の無償配布が行われ、上記4名も参加し、県産牛乳の消費拡大運動を併せて行いました。



●山口県酪農青年女性会議

令和5年6月2日(金)に、山口県酪農乳業協会と一緒に、下関市役所を訪問し、下関市長へ牛乳贈呈を行いました。



令和5年6月18日(日)には、「ボートキッズパーク モーヴィ下関」(「ボートレース下関」内)にて、「MILK●JAPAN inしものせき」が開催され、牛

乳試飲や牛乳パック工作・搾乳体験などを通して、来場者へ牛乳の消費拡大と酪農のPR活動を行いました。



●大山乳業農業協 青年部会・酪農女性部

6月10日(土)、24日(土)に「みるく館フェスタ」を開催。牛乳・乳製品の試飲や酪農資材(バケツ等)の展示、地元のケーキ店とのコラボスイーツの販売などを行いました。コロナ禍を経て、久しぶりの消費者との直接交流の場となりましたが、工場見学イベントと一緒に、大盛況なイベントとなりました。

6月19日(月)には、鳥取県庁を訪問し、鳥取県知事に牛乳を贈呈。鳥取県の酪農支援と牛乳普及を依頼し、知事へ日頃の支援に対するお礼及び継続支援についてお願いをしました。



●おかやま酪農協 女性部・青年部

6月2日(金)に岡山県庁を訪問し、県産牛乳と乳製品の目録を贈呈。各種行事やイベントで活用頂き、県産牛乳のPRをお願いしました。同日、JR岡山

駅前でミルメーク及びリーフレットを配布し、牛乳の消費拡大を呼び掛けました。



●大分県酪農青年女性会議

日 時：6月11日(日)

場 所：パークプレイス大分

活動内容：・搾乳体験

・仔牛ふれあい体験

・牛乳・ツール配布



●広酪メンバーズクラブ

6月4日(日)に壬生商店街（広島県山県郡北広島町）にて「壬生の花田植」（ユネスコ無形文化遺産登録）が開催されました。稲作の平穏と豊穡を願うと同時に田植え作業を楽しくしようと生まれた行事で、当日は、天候にも恵まれ、たくさんの来場者が訪れました。

会場では、牛乳並びにミルメークを配布し、来場者に向け牛乳消費拡大を呼びかけました。



●大分県酪農組合

日 時：6月8日(木)

場 所：小学校

活動内容：・搾乳体験

・仔牛ふれあい体験

・バター作り体験

・牛乳・ツール配布



●大分県酪農青年女性会議

日 時：6月18日(日)

場 所：トキハわさだタウン

活動内容：・模擬搾乳体験

・牛乳・ツール配布



らくのうこどもギャラリー

入賞作品紹介

「らくのうこどもギャラリー」に多数ご応募いただきありがとうございます。
総応募点数は138点でした。その中から12点の入賞作品を選出させていただきました。

特選



「ごはんを食べるホルスタインと乳しぼりするボク」

託麻南小学校 2年 (九州)

穴見 祥太郎

踊るように楽しげなポーズでご飯を食べている牛さん。乳を搾るボクの手からは勢いよくミルクが溢れます。画面全体が楽しげなリズム感に溢れています。画面いっぱいの大きな牛さんの表現も感じたまの素直感性が描かれています。

総評

第49回らくのうこどもギャラリーに多数の作品を応募いただきありがとうございます。北海道、東北、関東甲信越、中部、西日本、九州の各ブロックから合計138点の作品が寄せられました。地方ブロック予選から上がってきた45人のファイナリストの作品の中から特選、入選、秀作、ファミリー賞そして小学校入学前の方へ贈られる、あすなろ賞の12点を選出させていただきました。昨年の応募数205点に対して、今年は138点と少ない数字となりました。作品も例年のようなパワフルな表現作品は少なく素朴で静謐な作品が多かった印象です。特選を獲得した穴見祥太郎くんの「ごはんを食べるホルスタインと乳しぼりするボク」は画面全体から溢れるリズム感があります。細部の描写も繊細な色の使い方も絵を描くことを楽しんでいることが伝わる素晴らしい作品です。入選1の平川亜門さんの「牛のおやこ」は遠近法と色彩を上手に使って自然の雄大さと静けさを感じる傑作となりました。今年

2023年5月に新型コロナウイルス感染症は第5類に位置づけられましたが、依然として酪農家の方々は厳しい状況が続いていると思います。そのような中でも、子どもたちの絵からは牧場で懸命に働く親御さんへの尊敬の念や家族のように接する牛さんに対する愛情あふれる眼差しを感じます。入選2に選出された成松芽衣子さんの「虹をわたる牛」は幻想的な色使いと家族愛溢れる素敵な作品になりました。秀作3興野瑞希さんの「私の牛ポッポー」では瑞希さんと牛さんの心の絆が感じられる作品となりました。またファミリー2に選ばれた大塚若菜さんは東京の小学校に通う女の子です。四国の徳島で牧場を営むじいじと牛さん達が大好きなのでしょうね、2枚も作品を送ってくれました。どの作品にも子どもたちの溢れる思いが画面全体に表現されています。今回惜しくも賞にもれてしまった作品も素晴らしい力作ばかりで審査をしている我々もその作品群に癒される思いでした。

宮島 径／写真家
(みやじま・けい)



1967年 長野県生まれ。
1991年 東京藝術大学美術学部芸術学科 卒業。
1993年 デーリマン写真部入社
1997年 フリーランス・カメラマンとなる。
個展：2002年 「surface」(PLACE M、東京)
2006年 「世界のしくみ」featuring 麻里布栄 (PLACE M、東京)
2010年 「日照時間／The Daylight Hours」(ギャラリー蒼穹舎、東京)
2016年 「One Another」(喫茶&ギャラリーウィリアムモリス、東京)
2019年 「裏山現像」featuring 麻里布栄 (PLACE M、東京)

浅野 智／画家
(あさの・さとし)

1964年 神奈川県生まれ
1993年 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画)修士課程 修了
2000年 第11回 関口芸術基金賞 優秀賞
2001年 第12回 関口芸術基金賞 大賞
2016年 第1回 枕崎国際芸術賞 協賛賞
2017年 文化庁 文化芸術推進事業 ドローイングの現在 NPO 法人withART 代表理事

入選2



「虹をわたる牛」

吹田市西山田小学校 4年（九州）
成松 芽衣子

おじいさんを乗せた牛さんが虹を渡っています。とてもメルヘンチックで優しい感じのする作品です。牛さんの体もカラフルな色を何色も使って幻想的に描かれています。私もお気に入りの一枚です。

入選1



「牛のおやこ」

岡崎市立豊富小学校 4年（中部）
平川 亜門

牛さんの親子が半身で向き合うように描かれた斬新な構図の絵です。手前の母牛さんの毛並みは細い筆で丁寧に描かれていて、絵心を感じます。重厚で堂々とした絵に仕上がっていると思います。

入選4



「のんびり牛さん」

栗生小学校 1年（東北）
西牧 桜

クレヨンと水彩絵具を上手にを使って牛さんを描いています。つぶらな瞳が可愛い幼い感じの牛さんに描けました。青々とした牧草の描写、青空に浮かぶ白い雲、遠くに見える2本の木が、牛さんののんびり感を一層引き出しています。

入選3

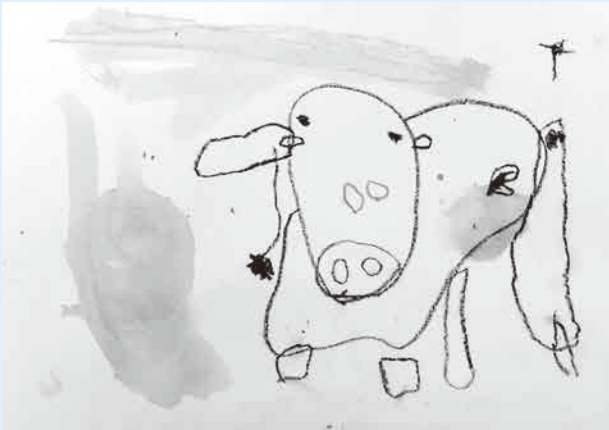


「のんびり牛」

下増田小学校 4年（東北）
阿部 煌己

耳をそばだてて舌をべろりと出した牛さんの一瞬の表情がうまく表現できましたね。左耳は画面に収まらなかったことで、かえって迫力が伝わってきて良いです。牛さんのお顔は黒の濃淡で描かれ、生き生きとした様子が伝わってきます。

秀作 2



「かっこいい牛さん」

認定こども園北陽幼稚園・第2北陽保育園 4歳（北海道）
池崎 隼人

池崎隼人君の描く「かっこいい牛さん」は、4歳児の絵によく見られる真横から見た牛さんではなく、右斜めから見た奥行きのある牛さんが描かれていて新鮮な印象を持ちました。クレヨンの迷いのない線も魅力的です。

秀作 1



「たたかう牛」

下増田小学校 3年（東北）
阿部 湊太

牛さんが頭を突きつけて闘う場面が描かれた作品です。押し合っている牛さんの動きが見事に表現できています。広々とした牧場の空間も伝わってきます。「牛」という漢字一文字は、絵にアクセントを与えています。

ファミリー賞1



「りんごを食べながら、ぼくとななをのせる牛」

城山保育園 5歳（九州）
大嶋 万葉

牛さんと「ぼくとなな」の楽しい触れ合いが描かれた元気の良い作品です。りんごを食べる牛さんの大きな丸い目や、クレヨンの渦巻きのような筆跡が画面に動きを与えています。人と牛さんたちの配置も絶妙だと思います。

秀作 3



「私の牛ポッピー」

聖マリア幼稚園 5歳（関甲信）
興野 瑞季

牧草に寝転んでいたポッピーが、瑞季さんに気づいてこちらを見ているところでしょうか。お昼寝に誘っているようにも見えますね。瑞季さんとポッピーの仲の良さを感じさせる愛らしい一枚となりました。

あすなろ賞1



「牛さんが牛乳出して人が喜んだ」

城山保育園 5歳（九州）
西村 壮平

大きな瞳をした四角くて、なんともユーモラスな形をした牛さんが2頭並んでお乳を出しています。「もー、もー」と、画面に文字で鳴き声も書き入れて楽しく描くことができました。可愛い作品です。

ファミリー賞2



「じいじのふれあい牧場」

品川区立伊藤小学校 1年（西日本）
大塚 若菜

お祖父さんの営む牧場の様子を描いた作品。牛舎の様子が愛らしい2頭の牛さんと共に細かく描かれています。若菜さんは同じテーマで2枚も作品を送ってくれました。じいじの牧場が大好きなんですね。



あすなろ賞2



「ぴーちゅんちの牛さん」

尚綱幼稚園 4歳（東北）
小林 圭音

ほのぼのとした顔が印象的な、味のある牛さんが描けましたね。不思議な余韻を残す作品です。右下にあるサインは鏡文字で「けいと（圭音）」と書かれています。幼少期のかわいらしい記録になることでしょう。



日本酪農
政治連盟

酪政連活動報告

令和5年6月

自由民主党酪政会（於 自由民主党本部）

自由民主党の衆参両議院の国会議員 72 名が参加した自由民主党酪政会総会において、日本酪農政治連盟・佐藤哲委員長は、依然として厳しい各地の酪農情勢を伝えるとともに、以下の要請事項を訴えた。

1. 生乳の生産原価変動に対応する
価格転嫁制度の検討、導入
2. 改正畜安法の検証
3. 自給飼料生産が不利な地域に対する
支援施策の構築
4. 有害鳥獣被害対策
5. 牛乳・乳製品需要の拡大施策



▲ 自民党酪政会で要請する佐藤哲酪政連委員長



▲ 70名を超す国会議員が参加した自民党酪政会



▲ 自由民主党酪政会の会長
森英介衆議院議員

6/7

三役会議、中央委員会

（於 自由民主党本部）

中央委員会後、各ブロック単位において
要請活動を展開する。



▲ 日本酪政連 中央委員会

酪政連東北ブロック協議会：

議員会館にて東北地区選出の国会議員に
対して要請活動を行ったのち、
自由民主党東北酪政会所属議員と
懇談会を実施する。



▲ 自民党東北酪政会との懇談会
（前列中央は鈴木俊一財務大臣）

6/7

関東地区酪政連協議会：

議員会館にて関東地区選出の国会議員に
対して要請活動を実施する。



▲ 築和生文部科学副大臣への要請

6/7

九州酪農政治連盟協議会：
議員会館にて
九州地区選出の国會議員に対して
要請活動を行ったのち、
野村哲郎農林水産大臣と面会し
酪農対策を訴える。



▲ 野村農水大臣との面会

東海ブロック酪政連協議会：
議員会館にて東海地区選出の国會議員に
対して要請活動を実施する。

中国地区酪農政治連盟協議会：
議員会館にて中国地区選出の国會議員に
対して要請活動を実施する。

6/21

正副委員長会議
(於 全酪連本所役員会議室)

酪農家経営管理支援システム(DMSシステム)

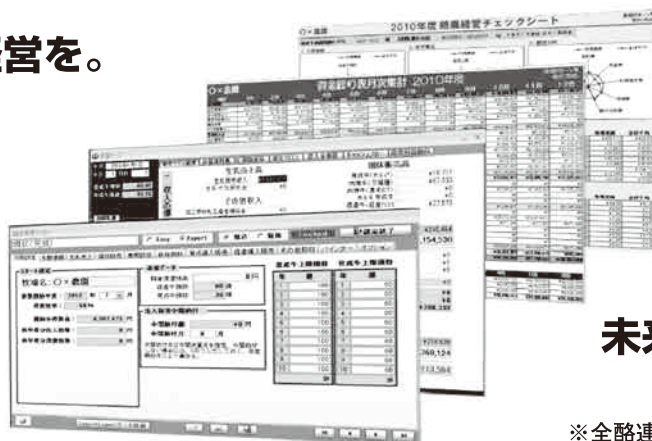
Dairy-farm Management Support System

SaaS

会計ソフト『e酪農経営』がインターネット上で使用できるようになり、
情報管理やQ&Aの効率が飛躍的に向上しました！

ぜひ、ご体験ください！

一歩先ゆく経営を。



未来を予測し対策を。

※全酪連酪農経営シミュレータ 操作画面

DMSシステムでは ①経営診断、②中期経営シミュレーション、③月次決算の支援を行っています。

全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部 酪農生産指導室 TEL 03 (5931) 8007

仙 台
支所発**(株)ヤマラクフーズ直売所が堂々オープン！**

山形県酪農業協同組合（山口長一代表理事組合長）の関連子会社である株式会社ヤマラクフーズ（山口長一代表取締役社長）が、「世界牛乳の日」の6月1日に直売所「デーリィショップヤマラク」がオープンするということで、取材に伺いました。

2022年11月号の会報でも同社の直売所開設をご紹介いたしましたが、当時はテントを構えての販売で積雪などの影響を受けやすく、冬季はやむなく休業しておりました。ですがこの度新たにコンテナハウスを購入し、天候に左右されない体制で販売を開始しました。

前回もお話を伺った佐藤統括部長は「ハウスだけではなく、電気を引いたり、装飾をしたりと大きな費用が必要でしたので、費用対効果を心配する声がありました。しかし消費拡大の取り組みが県酪の組合員

さんはもとより、県内の酪農家さんの支えになると考え、理解をもらいながらオープンをすることができました。」と話しておられました。特徴的な大きな牛柄の装飾は通りがかった方の目にも留まりやすく、続々とお客様が来店していました。

営業時間は平日・土曜日の10時から16時まで、山形県産牛乳を使った牛乳・乳製品を中心に販売しています。同社の宅配価格よりも1割程度安い価格で販売しており、今回キャッシュレスも導入したということで気軽に立ち寄れる工夫がされていました。今後の課題としては、直売所の開設という一過性の効果だけではなく、SNS等の発信力を強化し、継続的に“ヤマラクファン”を増やすことだそうです。

近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください♪

(Y.S)



▲ 6月1日にオープンした(株)ヤマラクフーズ直売所



▲ 初日は多くの方が来店、先着100名限定で牛乳の無料配布も



▲ ヤマラク牛乳のほか、チーズやヨーグルトも販売中

東京
支所発

「千葉県ミルクフェスティバル」開催!!

6月3日(土)と4日(日)の2日間にわたり、千葉市中央区にある千葉ポートパークの円形芝生広場において「ミルクフェスティバル 2023」が開催されました(主催 千葉県牛乳普及協会(会長:上原啓資)、千葉県酪農農業協同組合連合会(代表理事長:高橋秀行))。開会初日の朝は台風の到来があり2時間遅れの開始となりましたが、台風直後に関わらずチラシを片手に多くの親子連れが来場しました。2日目については終日、台風一過の好天に恵まれ開場直後から全てのテントで行列ができるほどの大盛況となりました。今年は搾乳牛1頭、子牛2頭を会場に連れてきたことで、普段見ることのできない本物の牛を街中でみることに興奮する子供が多数みられました。加えて模擬牛による搾乳体験を実施し、貴重な経験に更なる興奮をする大

人も多数みられました。また人気ゲーム機による「乳搾りゲーム」や「頭絡投げ」、「ポニーの乗馬体験」、「紙パックによる帽子作り」、「トラクター展示」など豊富なイベントを実施し会場を盛り上げておりました。さらに牛乳普及活動の一環として千葉県産の牛乳の試飲や乳製品の出店など多数あり、来場者は牛乳・乳製品にどっぷり浸かる2日間となりました。

過去に類を見ない酪農情勢の悪化により酪農家は大変な思いをしている状況です。会場においても現状を知ってもらうためのブースを設けるなど取り組みに努めておりました。今回のミルクフェスティバルでは、そんな大変な思いをしている酪農家と来場した消費者が笑顔で接する貴重な機会を持てた大変有意義な催しとなりました。(Y.K)



▲ 6月4日 台風一過の来場者(ステージ上より)

▼ 実際の搾乳牛と機械搾乳実演中!



▼ 人気ゲーム機による乳搾りゲーム!



▼ 牛乳パックで帽子づくり♪



▲ 千葉県産の牛乳の試飲で消費活動する皆さん



▲ 全力で頭絡を投げる女の子!



名古屋
支所発愛知県酪農農業協同組合
「6月1日牛乳の日キャンペーン」開催

牛乳の日である6月1日(休)に、愛知県酪農農業協同組合主催のキャンペーンを行いました。キャンペーンの趣旨は「6月1日は牛乳の日、6月は牛乳月間」をPRするとともに、牛乳の良さを啓蒙・啓発することです。

PRのチラシやミルメークなどをセットした袋を道行く一般消費者に配布しました。名古屋駅前の2カ所

に分かれ配布し、5,000 セットを3時間ほどで配り終わりました。

受け取っていただいた方から「ありがとうございます。牛乳飲みます。頑張ってください!」などのうれしい言葉もかけて頂きました。

今後もこの様な啓蒙活動を続けていきたいと思えます。(S.M)



◀◀ PRチラシ配布



▲ 消費者にPR

名古屋
支所発岐阜県各地で
「牛乳の日」「牛乳月間」のイベントを開催

6月1日(休)は「世界牛乳の日(WORLD MILK DAY)」ですが、日本でも6月1日を「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」となっています。これに先立ち、5月27日(土)に「牛乳月間」のイベントが岐阜県内で開催されました。「長良川サービスエリア」と「道の駅池田温泉」の2カ所で、地元牛乳の試飲やPRパンフレットとミルメークの配布を行いました。当日は天候に恵まれ、多くの家族連れやグループがイベントブースに立ち寄り、「冷たくておいしい!」「こんなおいしい牛乳は久しぶりに飲んだ!」と牛乳をごくごく飲まれていました。

6月に入って、他の2カ所で同様のイベントを開催し、牛乳のアピールを行います。(S.M)



牛乳配布(池田温泉にて) ▲▶



▲ 牛乳をアピール



▲ 牛乳配布(長良川SAにて)

大 阪
支所発全酪連近畿中四国酪農団体協議会
「令和5年度(第38回)通常総会・研修会」が開催される

6月12日(月)、全酪連近畿中四国酪農団体協議会(長恒会長)は、アットビジネスセンター新大阪において、令和5年度(第38回)通常総会を開催しました。

総会の前の役員会で1会員の脱退が承認されており、会員総数会員中18会員が出席(委任状出席含む)のもと、第1号議案から第4号議案について、慎重審議され全議案とも原案どおり承認されました。第4号議案「役員の改選について」では、今年は役員改選期に当たり承認された役員候補者の互選で長恒会長の続投

が決められました。

当協議会の令和5年度の事業は、会員団体の組織強化を目的に、講演会等の研修会の開催、及び管内・管外視察研修の実施等の事業を行っていくこととなりました。総会終了後、北海道大学大学院農学研究院・准教授清水池 義治氏による「昨今の酪農情勢とあるべきセーフティネット」の研修会を行いました。酪農業界に色んな形で提言を頂いている清水池先生からお話を頂き、会員の皆様は大変喜ばれておりました。(A.O)

福 岡
支所発佐賀駅西ロイベントスペースにおける
「牛乳マルシェ」で酪農理解醸成！

佐賀市のＪＲ佐賀駅西口に４月２６日(火)にオープンしたばかりのイベントスペース「サガハツスクエア」において、５月２８日(日)にＪＡ酪農代表者会（ＪＡさが、ＪＡからつ、酪農家）とさぎんコネクト株式会社主催のもと「牛乳マルシェ」が開催されました。

イベントスペースでは県産牛乳「さが生まれ」試飲・販売の他、地元佐賀県内酪農家による商品が販売され、多くの方が牛乳やスイーツなどを味わっていました。同スペースで実施した手作りバター体験のチケット

４０枚は完売し、体験者は出来立てのバターの味を楽しんでいました。乳しぼりや哺乳体験コーナーも多くのお子さんで賑わい、来場者数は予定を上回る１,５００人となり大盛況となりました。

牛乳・乳製品の美味しさ、すばらしさを改めて感じることのできるイベントでした。６月の牛乳月間で、消費拡大をよりアピールしていくことが重要だと感じました。(Y.A)



▲ バター作り体験は大盛況！



▲ 佐賀県内酪農家による販売ブース



▲ 搾乳体験を楽しむ親子

福岡
支所発九州酪農青年女性会議
「通常総会」の開催

6月21日(水)、福岡市博多区事務機ビルにおいて、九州酪農青年女性会議の通常総会を開催しました。中村委員長の挨拶より始まり、議事については、「【第1号議案】令和4年度事業報告書並びに収支決算書の承認について」「【第2号議案】令和5年度事業計画書(案)並びに収支予算書(案)の承認について」「【第3号議案】令和5年度会費の賦課及び徴収方法について」「【第4号議案】規定旅費の一部変更について」について協議され、全議案承認、可決されました。第

2号議案の事業計画書においては、新たに「九州酪農女の活動に資する意見交換及び勉強会の実施」を加え、総会前の委員会において理解醸成活動の数を前年度よりも増やすことも決定し、今年度は九州酪農女活動をより活発化させていく方針としました。

また、総会後には酪友フォーラムの活動報告の発表練習を行いました。発表時間の確認や、スライドの内容について委員同士でアイディアを出し合い、本番に向けた準備を整えることができました。(Y.A)



▲ 中村委員長挨拶



▲ 九州・沖縄各県より委員・事務局26名が参集



▲ 酪友フォーラム発表練習

原稿募集

「酪農トピックス」では皆様からの記事を募集しております

共進会、B & W、酪農祭り、親睦スポーツ大会といった催事情報から組合住所の変更や移転等案内情報、そして直営店情報や組合の自慢情報まで、酪農トピックスでは会員の皆様からの原稿を募集しております。本コーナーは会員の皆様の情報交換の場です。ぜひご活用ください。

送付先 皆様のお近くにありますが本会支所までご送付・ご連絡ください。

■札幌支所

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1 酪農センター5階
tel. 011-241-0765

■仙台支所

〒980-0021

仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3階
tel. 022-221-5381

■東京支所

〒151-0053

東京都渋谷区代々木1-37-2 酪農会館4階
tel. 03-5931-8011

■名古屋支所

〒460-0008

名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3階
tel. 052-209-5611

■大阪支所

〒532-0011

大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル6階
tel. 06-6305-4196

■福岡支所

〒812-0016

福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7階
tel. 092-431-8111

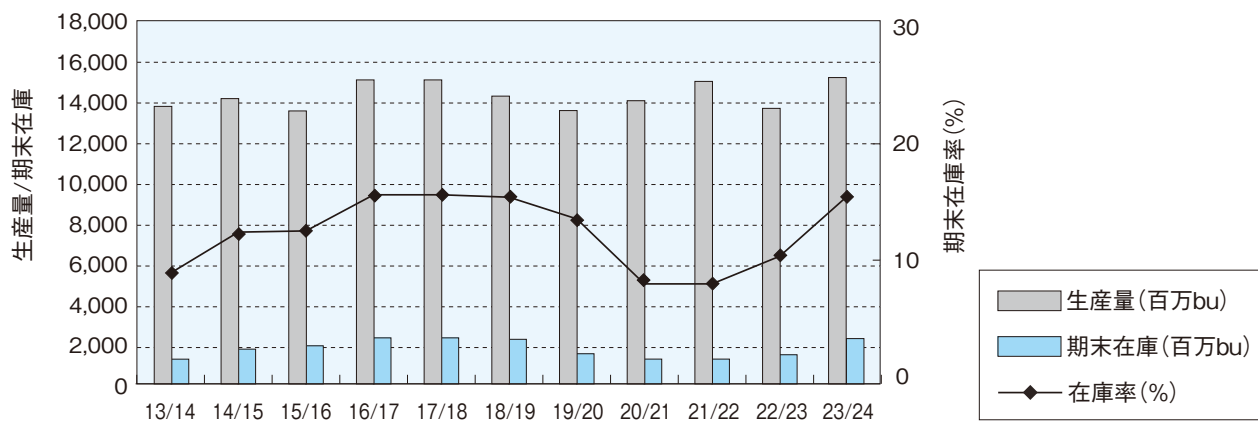


原料情勢

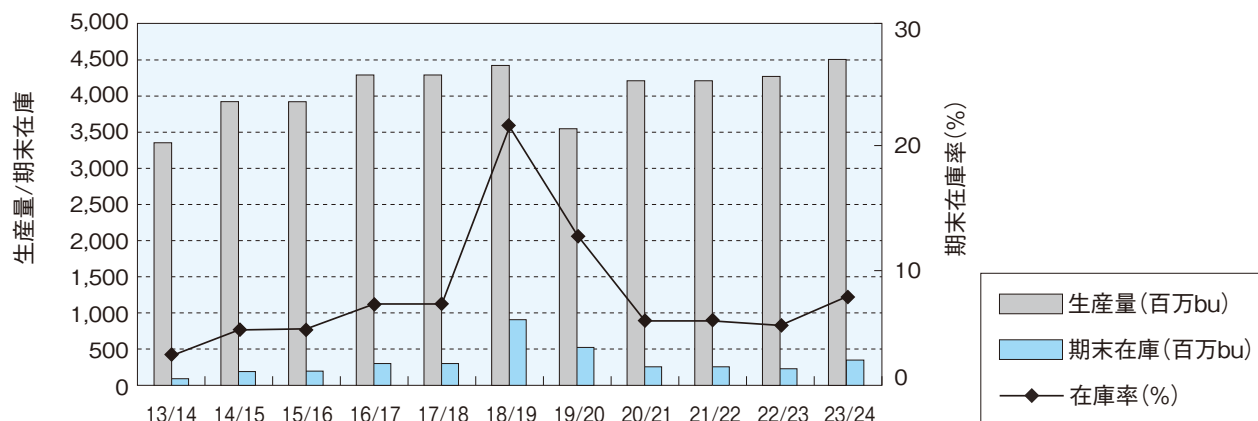
令和5年6月

6月9日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想		22/23年産	23/24年産
	作付面積(百万エーカー)	88.6	92.0
	単 収(ブッシェル/エーカー)	173.3	181.5
	生 産 量(ブッシェル)	137億3,000万	152億6,500万
	需 要 量(ブッシェル)	136億8,000万	144億8,500万
	期末在庫(ブッシェル)	14億5,200万	22億5,700万
	在 庫 率	10.61%	15.58%
トウモロコシ 相場動向	米国産の順調な作付け進捗や、ブラジル産の豊作が確実視されていること、中国の米国産キャンセル等、市場には弱材料が揃っているものの、シカゴ相場は米国産地の天候状況や、ファンドのポジション調整等により、底抜けない展開となっている。		
大豆粕相場動向	国産大豆粕は油在庫過多による搾油量の減少から、搾油メーカーは引き続き強気の姿勢を見せているものの、シカゴ相場が下落していることから弱含みに推移している。中国産輸入大豆粕は内需が弱く在庫率も低水準のため産地価格は上昇している。		
糖 類	【一般フスマ】6月からの小麦製品値上げに伴い、先取需要が発生したことで製粉工場の稼働率は上がっているものの、挽砕量は前年対比減少している。7月以降の先取需要の反動を考慮すると在庫逼迫は継続すると思われる。		
	【グルテンフィード】スターチメーカーは夏季需要に向けて稼働期に入っているが、発生自体は前年並みとなっている。ふすまがタイトなことから配合率は3%台と高値を更新しており、7-9月期も配合率は変わらず維持されとの見通しから秋以降の在庫が危ぶまれる。		
海上運賃	フレート市況は、中国向け貨物の荷動きが低調で弱含みで推移していたものの、南米産穀物の荷動きが活発化されはじめたことから底を打ち反発している。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

令和5年6月

北米コンテナ船情勢	米国西海岸における北米西岸港湾労組（ILWU）と雇用主団体（PMA）の労使交渉はターミナル施設の自動化について合意しましたが、賃金と年金給付に関する交渉は難航しています。6月に入り北米西岸港湾労組（ILWU）が各港で抗議活動を始め、6月上旬にターミナルの一部を閉鎖する措置を取りました。現在、各港では通常稼働となっていますが、労使交渉が長引くにつれ再び抗議活動が発生する可能性もあるため、今後も経過には注視が必要です。
ビートパルプ	【米国産】22-23年産の製糖作業及びビートパルプの生産は終了しています。23-24年産のビートパルプの生産については現在、播種作業が進められています。産地では冷涼な気候により播種作業の進捗が遅れていましたが、5月末に天候が回復したため、例年通りに播種が終了した地域も見られています。23-24年産のビートパルプの市場については、シカゴ相場におけるトウモロコシや大豆相場の下落を受け、米国内では需要を見極めていく状況のため、相場変動には注視が必要です。
アルファルファ	【ワシントン州】主産地であるコロンビアベースンでは、春先の冷涼な気候により例年より生育が2～3週間遅れましたが、5月中旬から南部で23年産1番刈の収穫作業が開始されています。南部では一部で降雨被害があったものの、概ね順調に進捗し、現在では収穫作業を終えています。収穫されたアルファルファの一部では成分の高い高級品も発生しています。コロンビアベースン北部では1番刈の収穫作業が中盤に差し掛かっています。南部に比べて降雨被害が出ていますが、その後は天候も暖かく乾燥した気候で収穫作業が進行しています。 【カリフォルニア州】カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは現在3番刈の収穫が行われており、圃場によっては4番刈の収穫が開始されています。産地では35℃を超える気温のため、高級品の発生は減少しており、中級品中心の発生となっています。インペリアルバレー灌漑局の発表によると、5月15日時点でのアルファルファの作付面積は152,480エーカー（前年同期は133,598エーカー）と前年同期比114%と増加しており、過去10年間で最高水準の作付面積となっています。
チモシー	【米国産】主産地であるワシントン州コロンビアベースン及びエレンズバークでは、温暖な気候が続き、順調に生育しています。コロンビアベースン南部では5月下旬から23年産1番刈の収穫作業が開始されています。一部の圃場で降雨がありましたが、雨当たり被害は軽微なものとなっており、収穫作業は今後本格化する見込みです。 【カナダ産】主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区では、冷涼な気候が続いていましたが、5月に入り30℃近くの乾燥した気候が続き、降雨も少なかったため、早魃の状況となっています。クレモナ地区は非灌漑での生産となるため、今後の生育に向け降雨が望まれています。1番刈の収穫は7月上旬頃からの開始が予想されています。同州南部のレスブリッジ地区では、温暖な気候で5月の降水量は昨年より減少しましたが、6月に入り降雨があり、順調に生育しています。
スーダングラス	主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、早い圃場で5月下旬より23年産の収穫が順次開始され、今後収穫が本格化する見込みです。インペリアルバレー灌漑局の発表によると、6月1日時点での作付面積は24,704エーカー（前年同期は42,524エーカー）となっており、前年同期比58%となっています。多くの輸出業者は22年産の繰り越し在庫を抱えているため、慎重な買付になることが予想されます。また、産地の水源であるネバダ州ミッド湖の水位は4月上旬まで過去最低水準に落ち込んでいましたが、生産者の節水や雪解け水により水位は上昇しているため、懸念されていた水不足の心配はありません。
クレイングラス	クレインは全酪連の登録商標です。 主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、1番刈の収穫は終盤を迎えており、圃場によっては6月上旬より2番刈の収穫が開始されています。これまで収穫された1番刈の品質は良好で葉量が多く柔らかな高級品の発生が中心となっています。一部では雑草混じりや刈遅れの品質が発生したものの、近隣の酪農家や肥育農家向けに出荷されています。インペリアルバレー灌漑局の発表によると、5月15日時点でのクレイングラスの作付面積は22,170エーカー（前年同期19,131エーカー）となっており、前年同期比116%と増加しています。
	 ▲ 23年産クレイングラス 6月上旬 インペリアルバレーにて撮影
バミューダ	主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレー灌漑局の発表によると、5月15日時点の作付面積は64,852エーカー（前年同期61,718エーカー）と前年同期比105%の作付面積となっています。現在、産地では多くの圃場で種子の生産を行っておりバミューダヘイにおける収穫作業は7月上旬より本格化する見込みとなっています。一部の圃場でバミューダヘイの生産が行なわれていますが、大半が米国内需の馬糧向けに販売されるため、種子生産が終了しバミューダヘイの生産が本格化する夏場までは輸出向けの供給は限定的となる見込みです。
オーツヘイ	【豪州産】23年産の播種作業は多くの地域で順調に進みが終盤を迎えています。東豪州や南豪州の輸出業者は22年産低級品の繰越し在庫を多く保有していると予想されますが、近隣の生産者や各国からの輸出需要も引き合いが増えていることから、作付面積については増加する見込みとなっています。5月の降雨量は各地で概ね例年並みとなりましたが、6月に入り乾燥が強まる予想のため生育期の降雨不足が心配されています。

乳牛産地情報

令和5年7月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▲……やや強含み ▲……横這い ▲……やや弱含み ▼……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	20~30	→	札幌管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で98.6%、累計で97.6%、苫小牧管内月計で93.3%、累計で93.4%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分娩が中心となります。秋分産牛も増え需要も一定はあると考えますが価格は横這いに推移するものと見込まれます。雌雄選別腹におきましては、資源が少ない中で引き合いがかなり強くなっている状況です。経産牛に関しましては、即戦力の需要は高まると考えますのでやや強含みになると予想されます。出品頭数は少ないですが、初妊牛・育成牛ともに良質な牛が揃う地域ですので、相場が落ち着いているこの時期での導入をお勧めいたします。
	初妊牛	43~53	→	
	経産牛	32~42	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	20~25	→	根釧管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で96.0%、累計で95.0%、中標津管内月計で97.2%、累計で95.8%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分娩中心となります。初妊牛に関しましては、相場は道内外の購買意欲の減少から引き続き軟調に推移すると見込まれ、夏分産から秋分産へ移行する中で、しばらくは導入しやすい環境が続くと思われます。庭先購買でも、やや弱含みとなるものと見込まれます。腹別では、雌雄選別腹、F1腹ともにやや弱含みの状況となっております。上クラスと裾物がはっきりしており、裾物は値段が付かない状況です。安価な価格では販売せず、自家保留とする農家が増えてきているため資源不足が今後危惧されます。
	初妊牛	40~50	→	
	経産牛	32~42	↓	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	25~35	→	帯広管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で95.3%、累計で95.1%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分娩が中心となっています。初妊牛に関しましては、秋分産中心の出回りとなりますが、情勢もあるため需要は例年ほど多くはないと考えているため、横這いに推移するものと考えられます。腹別では、資源減少を見込んで雌雄選別腹の需要が高くなっており、経産牛に関しましては、高泌乳牛などの即戦力となる経産牛については高値で取引されるものの、全体的には横這いに推移しており、今後も横這いで推移すると見込まれます。育成牛に関しましては、資源減少を見越して、需要が高まっているため、初妊牛価格が弱含みで推移する中でも堅調に取引されると見込まれます。
	初妊牛	45~55	→	
	経産牛	40~50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	18~28	→	道北管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で96.9%、累計で96.0%、北見管内月計で96.1%、累計で94.2%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分娩中心となります。初妊牛に関しましては、資源頭数が前年並みにありますが、秋分産へと移行していくタイミングですので相場としては横這いに推移すると予想されます。腹別については、雌雄選別腹の資源が少ない状況でありますので、引き合いは強くなると予想されます。経産牛に関しても、初妊牛と同様の動きを見せると予想されます。育成牛に関しましては、将来的な資源確保による需要が落ち着きを見せ、やや弱含みに推移すると予想されます。
	初妊牛	43~53	→	
	経産牛	28~38	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	25~35	→	道内の6月中旬までの生乳生産量前年比は96.3%、累計で95.4%の実績となっております。各地域、1番草の収穫が順調に進んでいる状況です。7月の初妊牛動向といたしまして、夏分産から秋分産へ移行し例年であれば需要が高まってくる時期になりますが、今年については、大きな相場変動は考えにくく、横這いに推移するものと見込まれます。資源については、引き続き雌雄選別腹について不足感があります。軟調な相場が続いているため、酪農家の中には販売へ向けず保留する傾向が見られるため、全体の資源としては、減少すること考えられます。弊会としては引き続き、道内資源状況を注視しながらご希望に合った搾乳用素牛を供給していきたいと思っておりますのでご注文宜しく願い致します。
	初妊牛	45~55	→	
	経産牛	35~45	→	

今月の表紙

今月の表紙は「第12回酪農いきいきフォトコンテスト」に応募いただいた作品「たくさん取れたよ」(熊本県 長塩美穂氏 撮影)です。



令和5年7月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 7月号 No.694

●編集・発行人 岡田征雄

●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館

TEL 03-5931-8003 <https://www.zenrakuren.or.jp/>

編集後記

- 今年の「らくのうこどもギャラリー」に全国から138点の応募をいただきありがとうございました。厳正な審査の結果、選ばれた入賞作品をご紹介します。ご応募いただきました皆さまには心から感謝申し上げますとともに、来年もより多くの応募をお待ちしております。梅雨明けもまだのなか、真夏日、猛暑日を記録している地もありますが、暑さに負けず、体調管理に注意し、これからはじまる夏を乗り切りましょう!
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



特選

ごはんを食べるホルスタインと乳しぼりをするボク

託麻南小学校 2年（九州） 穴見 祥太郎

今月の入賞作品は…

託麻南小学校 2年（九州）の穴見 祥太郎さんの作品です。

踊るように楽しげなポーズでご飯を食べている牛さん。乳を搾るボクの手からは勢いよくミルクが溢れます。画面全体が楽しげなリズム感に溢れています。画面いっぱい大きな牛さんの表現も感じたままの素直感性が描かれています。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第49回らくのうこどもギャラリー」で全国138点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議